

草津白根山の火山活動解説資料（平成 20 年 6 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2）

逢ノ峰（湯釜の南約 1 km）に設置してある遠望カメラでは、湯釜火口縁を越える噴気は観測されませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 3、図 4 - ）

山頂火口付近を震源とする火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 4 - ）

GPS 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。

・火口及び山体内の熱の状況（図 6）

地磁気連続観測¹⁾では、湯釜付近の地下の温度低下によると考えられる変化が継続しています。

1) 火口の北側観測点で全磁力値に増加傾向（図で上向き）、南側観測点で減少傾向（図で下向き）がみられた場合、火口直下での温度上昇があると考えられます。

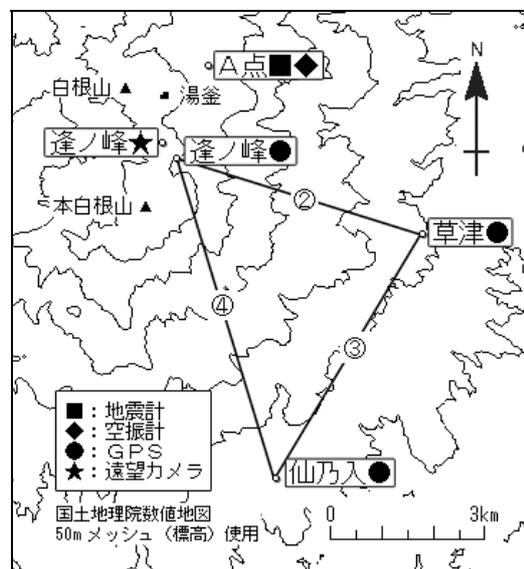


図 1 草津白根山 気象庁の観測点配置図
（小さな白丸は観測点位置を示しています）
GPS 基線 ~ は図 4 の ~ に対応しています。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 20 年 7 月分）は平成 20 年 8 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、東京工業大学のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ(標高)』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。



図2 草津白根山 湯釜付近の状況(6月30日、逢ノ峰遠望カメラによる)

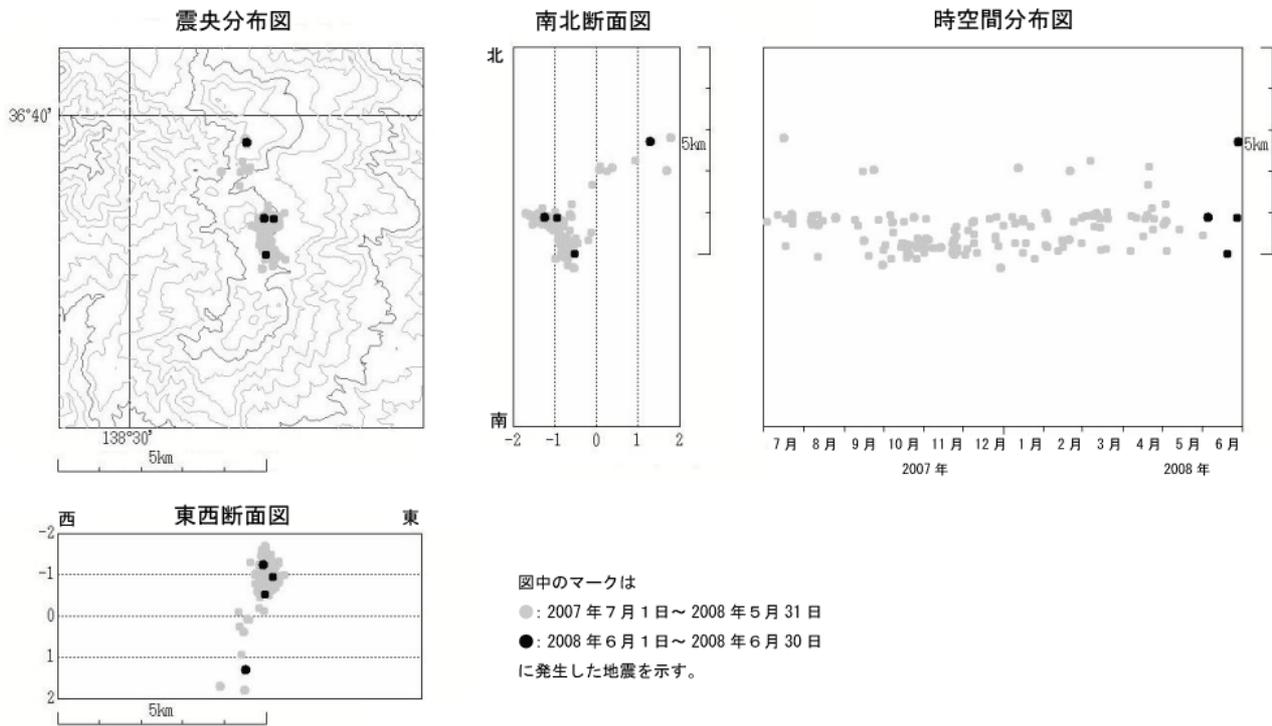


図3 草津白根山 火山性地震の震源分布(2007年7月1日～2008年6月30日)

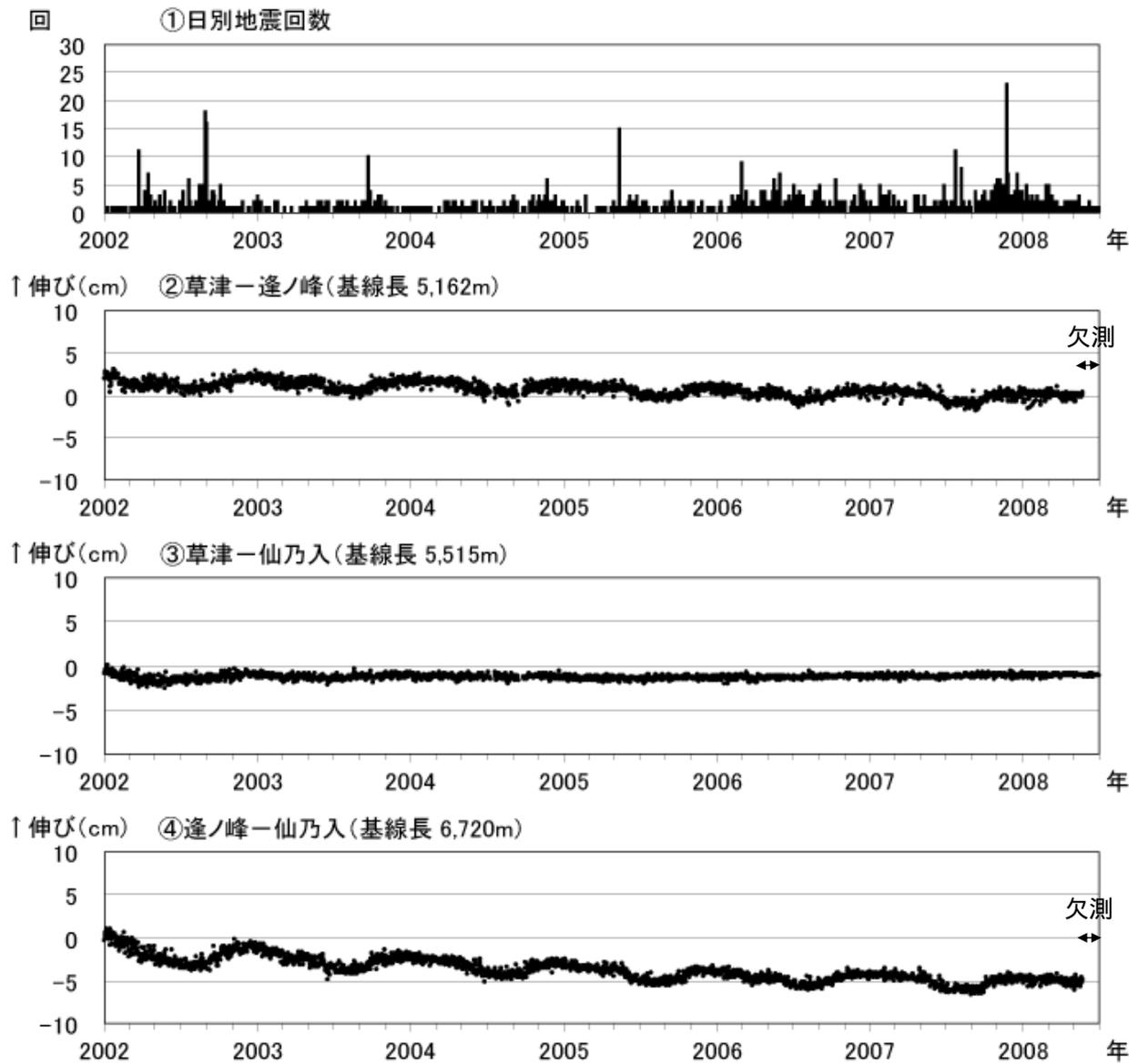


図4 草津白根山 最近の火山活動の推移(2002年1月~2008年6月)
 山体付近に発生した地震の日別回数
 ~ GPS連続観測による基線長変化
 基線長変化にみられる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動による変化です。
 ~ は図1のGPS基線 ~ に対応しています。

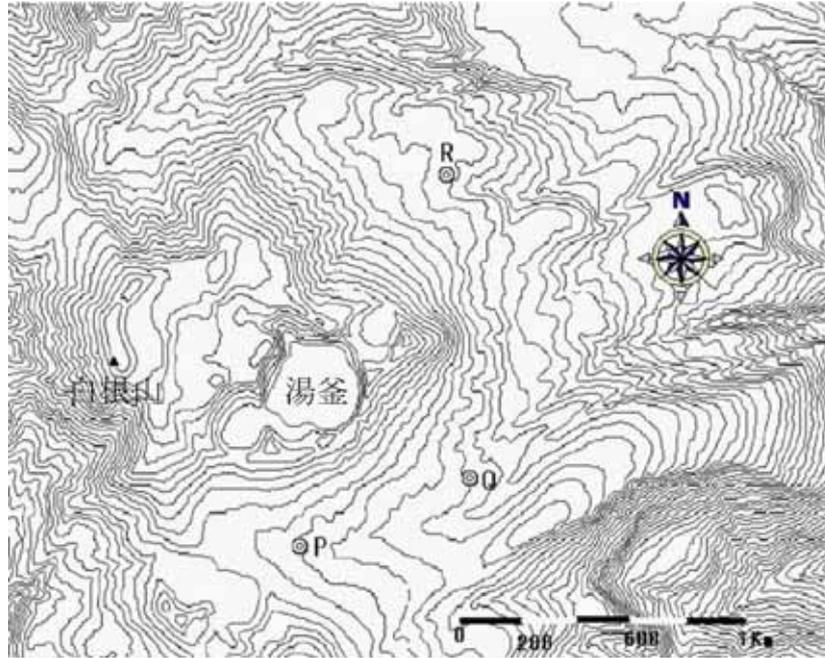


図5 草津白根山 全磁力連続観測点配置図

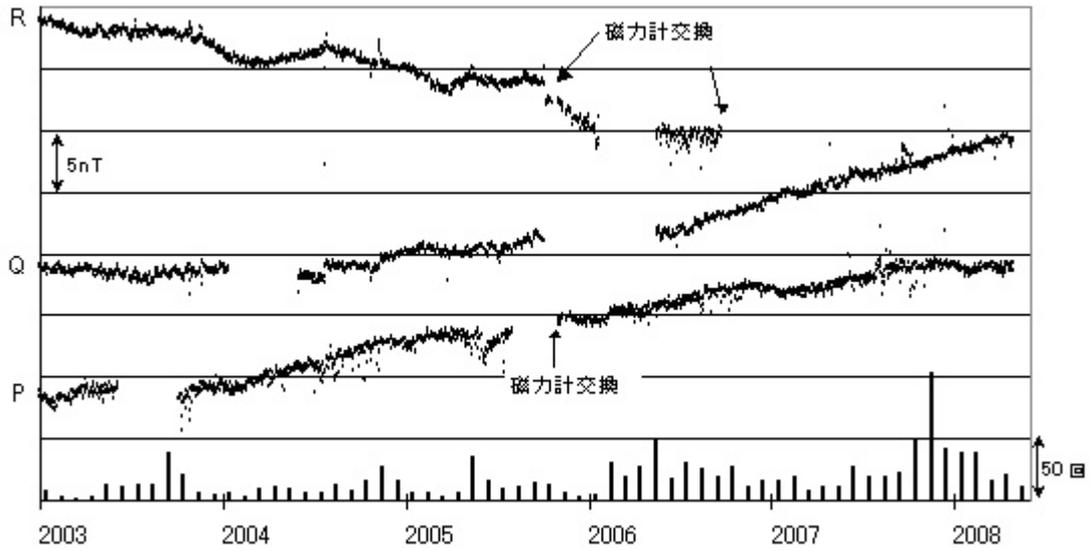


図6 草津白根山 全磁力連続観測の結果及び月別地震回数(2003年1月~2008年4月)
nT(ナノテスラ)は磁場の強さを表す単位。